

弘前れんが倉庫美術館の今後の展望

作品を通じて、多様なアートに触れていただくだけでなく、学校や職場、家とも違う、居心地の良さと知的な刺激の両方を得られるような場所として、皆さんに愛されるようになることを願っています。またこの美術館は、今から100年前に当時の最先端の技術によって建設されて、今は現代アートの拠点として、同じく最先端の作品を生み出す場所にもなっています。新しいものも、100年後には歴史の一部になっていくように、弘前の歴史を作り、蓄積していく場所にしていきたいと思います。

弘前の好きなところは

弘前城を中心として、弘前れんが倉庫美術館や弘前駅までのエリアが街の中心部としてコンパクトにまとまっていて、その中に美味しいお店や歴史的な建物などが連なっているので、歩いているいろんな場所へ行くことができるところが好きです。

弘前市民に向けてのメッセージ

開催中の「開館5周年記念展 ニュー・ユートピア」で紹介している作品の多くは、この美術館の所蔵作品で、市民の皆さん共有の財産です。弘前や津軽地方の風土や自然を起点に生み出された作品は、現代を生きる私たちが楽しむだけでなく、未来の弘前市民のために育てていく「未来の歴史」になるものでもあります。展覧会には縄文や弥生時代の土器や古作のこぎんなど、この土地で育まれてきた文化も併せてご紹介しています。歴史を振り返りながら未来を想像する機会として、弘前れんが倉庫美術館にご来館ください。

弘前れんが倉庫美術館 館長

まむら えりこ

木村 絵理子 さん

2000年より横浜美術館に勤務、2012年より主任学芸員。
2023年6月より弘前れんが倉庫美術館副館長兼学芸統括を務め、
2024年4月より現職。



開館5周年記念展

ニュー・ユートピア

——わたしたちがつくる新しい生態系

会
期

1期 4月4日(金)ー7月7日(月)

2期 7月11日(金)ー11月16日(日)



注目ポイントは

注目の若手アーティストたちの作品や、当館が開館以来収集してきたコレクション、さらに地域にまつわる資料など、100点以上の作品を展示しています。

弘前市出身の奈良美智さんによる新作絵画《Girl from the North Country (study)》も見どころのひとつです。昨年当館のスタジオで開催した音楽ライブに奈良さんが出演した際に制作されたドローイングや記録映像もご覧いただけます。月1回、展覧会の解説ツアーも開催しています。ぜひご参加ください。



アシスタント・キュレーター

ささき ようこ

佐々木 蓉子 さん

2020年より弘前れんが倉庫美術館に勤務。

奈良美智《Girl from the North Country (study)》2007年
©Yoshitomo Nara Courtesy of Yoshitomo Nara Foundation
and anonymous art project



本展会場風景 撮影：Keizo Kioku

知らなかった！弘前れんが倉庫美術館の活用方法

施設貸出の紹介



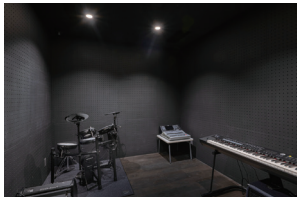
スタジオ A

パソコンや3Dプリンターを備え、ワークショップや制作活動、実技講座などに。



スタジオ B

スクリーンやプロジェクター、大きな鏡を備え、ダンス練習や上映会などに。



スタジオ C

防音設備を備え、楽器練習や演奏、録音などに。



市民ギャラリー

照明やピクチャーレールを備え、写真や絵画、パネルなどの展示に。



これからのシーズンにぴったり！
美術館前の緑地を知っていますか？

土淵川吉野町緑地は、天気の良い日は風が心地よく、芝生の上で子どもも安心して遊べます。イベント等で緑地を使用したい場合は、文化振興課に問い合わせを！

【問い合わせ先】

文化振興課（☎ 40-7015）／弘前れんが倉庫美術館（吉野町2の1、☎ 32-8950、午前9時～午後5時〈入館は午後4時30分まで〉、(金)・(土)のみスタジオ・ライブラリーは午後9時まで、(火)〈祝日の場合は翌日〉と年末年始は休み）／cafe & shop BRICK（☎ 40-2775、午前9時30分～午後5時30分）

耳より情報

お得に鑑賞 市民割

市民が観覧料500円引きになる「市民割」を2024年4月から実施中。受付で住所が証明できるものの提示を。

魅力たっぷり メンバーシップ

「H-MOCAメンバーズ」に入会すると、年間フリーパスや会員限定ツアーなど、さまざまな特典があります。美術館を応援するメンバーになりませんか？